

事業番号：8月30日(土)－⑤－2			2025 年度		
事業シート（概要説明書）					
予算事業名		元気高齢者による介護助手マッチング支援事業		事業開始年度	
上位施策事業名		元気高齢者活動促進事業費		担当局・部名	
根拠法令等				担当課・係名	
事務区分		■自治事務    □法定受託事務		作成責任者	
実施の背景		富山県の65歳以上人口のうち要介護認定を受けているのは2割弱であり、8割以上の方は地域で元気に暮らしていることを踏まえ、慢性的な人手不足である介護現場において、身体的介助を伴わない周辺業務（部屋の掃除や食事の配膳・片付けなど）を担っていただく方々を「介護助手」として位置付け、元気な高齢者がその担い手として活躍いただくため、2021年度にモデル事業を実施し、2022年度に「介護助手制度」を導入した。  ■2021年度（令和3年度） 介護助手に関する介護施設等への実態調査およびモデル施設（県内5施設）での実証実験を実施  ■2022年度（令和4年度） 2021年度モデル事業を踏まえたノウハウ集（介護助手の手引き）の作成や、介護・福祉シンポジウムの開催を行うことで介護助手制度の普及啓発を行う。また、2022年度から現在に至るまで、県福祉人材センターに「介護助手普及推進員」を1名配置し、介護助手希望者と介護事業所との就労マッチング支援を実施  ■2025年度（令和7年度） 「介護助手普及推進員」の配置に加え、市町村による介護事業者を対象とした研修や制度説明会に対する開催補助を実施			
目 的 (何のために)		元気な高齢者の社会進出や生きがいづくりの創出と介護現場の人材不足の解消に向けて、介護助手制度の普及を支援 ( ・ 介護人材の確保 ・ 介護業務の質の向上 ・ 高齢者の就労や健康づくりの実現 ・ 地域の力で介護を支える )			
向上が図られるとされているウェルビーイング指標の項目		指標① なないろ指標／生きがい・希望	指標② つながり指標（地域）	指標③ なないろ指標／安心・心の余裕	
対 象 (ターゲットとなる県民等の属性)		・ 県内高齢者（60歳以上） ・ 介護事業者（介護施設の職員）およびサービス利用者		対象者数（全住民に対する割合） 410,718 人 40.4 % )	
実施方法		□直接実施（直営） ■業務委託 又は □指定管理 （委託先又は指定管理者：富山県福祉人材センター） ■補助金〔 <u>直接</u> ・間接〕（補助先：市町村 実施主体：市町村） □貸付（貸付先： ） □その他（ ）			
事業概要	事業内容（箇条書き）		事業費		活動指標
	「 <u>介護助手普及推進員</u> 」によるマッチング支援、普及啓発（委託事業） ・ 元気高齢者の通いの場及び介護事業所への訪問、相談窓口設置等によるマッチング支援 ・ 地域における介護に関する研修会や会議などでの制度のPR活動		6,400	千円	マッチング （雇用契約）件数
	市町村の地域における介護助手制度導入に対する普及促進補助 ・ 市町村単位等による制度導入のための普及促進事業に対する補助（市町村による介護事業者を対象とした研修や制度説明会に対する開催補助 基準額200千円、補助率1/2）		500	千円	

事業番号：8月30日(土)－⑤－2											2025 年度								
事業シート（概要説明書）																			
予算事業名		元氣高齢者による介護助手マッチング支援事業								事業開始年度		2021年度							
関連事業 (同一目的事業等)		地域からの介護人材参入促進事業（9,000千円） 富山短期大学（介護福祉士養成校）の職員等がコーディネーターとして市町村に伺い、公民館や小学校での出前講座や入門的研修の実施からマッチングまでの一体的実施に向けた企画・立案・実施を支援。 ①養成校学生及び卒業生による出前講座 ②介護に対する入門的研修の実施からマッチングまでの一体的支援 （ア）介護に関する入門的研修の実施 （イ）介護等の業務体験支援 （ウ）地域住民と養成校学生・卒業生のフォローアップ交流会																	
コスト	事業費	2025 年度（予算）				2024 年度（決算見込）				2023 年度（決算）				2022 年度（決算）					
		事業費合計				6,900 千円				6,220 千円				6,200 千円				9,748 千円	
	事業費内訳 (2024年度分)	県福祉人材センターへ委託費:6,220千円																	
		内訳	県社会福祉協議会職員人件費：5,124千円 募集チラシ等印刷、介護助手導入事例集作成費：658千円 通信運搬費、使用料（パソコンリース料、車両費等）：340千円 消耗品、事務用品代：89千円 県内旅費：9千円																
	人件費		担当正職員	0.15	人	1,113	千円	0.15	人	1,140	千円	0.15	人	1,061	千円	0.15	人	1,107	千円
		臨時職員等				千円				千円				千円				千円	
		人件費合計	0.15	人	1,113	千円	0.15	人	1,140	千円	0.15	人	1,061	千円	0.15	人	1,107	千円	
総事業費		8,013 千円				7,360 千円				7,261 千円				10,855 千円					
財源	内訳	国補助金		0 千円				1,084 千円				1,267 千円				0 千円			
		国補助金の内容		都道府県保険者機能強化推進交付金（インセンティブ交付金）															
		地方債		0 千円				0 千円				0 千円				0 千円			
		その他の財源 (使用料、手数料など)		6,900 千円				5,136 千円				4,933 千円				9,748 千円			
		その他の財源の内容		地域医療介護総合確保基金															
		一般財源		1,113 千円				1,140 千円				1,061 千円				1,107 千円			
財源合計		8,013 千円				7,360 千円				7,261 千円				10,855 千円					
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）						単位		2024 年度		2023 年度		2022 年度					
		介護助手希望者と介護事業所とのマッチング（雇用契約）件数 ※目標値：財源である地域医療介護総合確保基金の事業計画上の目標値						件/年		20 / 10		23 / 10		12 / 10					
	単位当たりコスト	総事業費		／	マッチング件数		千円		368		316		905						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	本事業の主な目的の一つである、「介護現場の人材不足の解消」という効果を最も客観的に示すアウトカム指標であるため設定した。介護助手を導入した全て事業所が人材不足の解消を実感できるよう、県としてもマッチングからフォローアップまで緻密に取り組んでいくことが重要であると考え。																	
		【成果指標名】（実績値/目標値）						単位		2024 年度		2023 年度		2022 年度					
	成果 (目標達成状況)	介護助手を雇用した介護事業所のうち、雇用効果として「人手不足の解消」を実感している介護事業所数 ※民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査報告書より（県社会福祉協議会実施） ※事業所：施設サービス事業所等						件/件		36/62 (58.1%)		—		—					

事業番号：8月30日(土)－⑤－2		2025 年度													
事業シート（概要説明書）															
予算事業名	元気高齢者による介護助手マッチング支援事業	事業開始年度	2021年度												
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	【自己評価】 2022年度（令和4年度）より富山県福祉人材センターに介護助手普及推進員を1名配置し、地道な普及活動の結果、開始年度である2022年度（令和4年度）実績と比較してもマッチング件数は増えた（R4:12件、R5:23件、R6:20件）。 またR5、R6に県社会福祉協議会が実施した介護事業所を対象にした人材確保に関するアンケート調査の中で、施設サービス事業所等による介護助手雇用への関心度が一定数上昇した。														
	<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>介護助手を雇用している</td><td>29.8%（53施設/178施設）</td><td>36.1%（62施設/172施設）</td></tr><tr><td>介護助手の雇用を検討中</td><td>12.9%（23施設/178施設）</td><td>14.5%（25施設/172施設）</td></tr><tr><td>介護助手の雇用予定なし</td><td>57.3%（102施設/178施設）</td><td>49.4%（85施設/172施設）</td></tr></table>				R5	R6	介護助手を雇用している	29.8%（53施設/178施設）	36.1%（62施設/172施設）	介護助手の雇用を検討中	12.9%（23施設/178施設）	14.5%（25施設/172施設）	介護助手の雇用予定なし	57.3%（102施設/178施設）	49.4%（85施設/172施設）
		R5	R6												
	介護助手を雇用している	29.8%（53施設/178施設）	36.1%（62施設/172施設）												
	介護助手の雇用を検討中	12.9%（23施設/178施設）	14.5%（25施設/172施設）												
介護助手の雇用予定なし	57.3%（102施設/178施設）	49.4%（85施設/172施設）													
民間福祉・介護事業所の人材確保に関する調査報告書より(県社会福祉協議会実施) ※施設:施設サービス事業所															
【課題】 2024年度（令和6年度）まで、介護助手普及推進員1名で県内で普及促進活動を実施していたが、県内全域を視野に活動するには1名だけでは限界があり、より地域に根差した人材の掘り起こしのアプローチや、マッチングの支援を行うことが必要不可欠であると考え。また上記のアンケート結果にもあるように、関心度の増加が見受けられる一方で、雇用予定なしの介護事業所も多数いるため、介護事業所からの前向きな理解を得られるよう取り組む必要がある。															
【事業の方向性】 上記の課題を踏まえて、2025年度（令和7年度）からより地域の特性を理解している市町村が、介護事業所を対象とした介護助手制度の普及に係る研修や制度説明会を開催する際の県単補助金を予算化した。今後、介護助手制度の推進を県単独で進めるのでは限界があるため、市町村を含めた各関係機関と連携を強化し、より効率的に普及が進むあり方を検討してまいりたい。															
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	■石川県 ・概要：被災地施設受入体制維持に向け、「介護助手」の導入促進を実施 ・予算額：8,000千円（R⑥9補） ・内容：事業者向けセミナーの実施、専門家による個別相談の実施 ・実績：R6マッチング数 13名														
	■福井県 ・概要：H29より県社協へ委託し、高齢者等が介護施設における補助業務に従事する「ちょこっと就労」事業を実施 ・予算額：1,250千円（R⑥当初）※県社協の人件費等の運営費を除く ・内容：「ちょこっと就労」参加施設に対して、①施設周辺広報経費助成、②ステップアップ研修受講料助成を実施（助成上限額66千円） ・実績：R6マッチング数 34名														
特記事項															



委託先シート				2024年度実績
委託内容	委託先	委託金額		事業者選定方法
生活困窮者自立支援事業	厚生企画課	12,980	千円	随意契約
日常生活自立支援事業（成年後見制度利用促進研修会）	厚生企画課	500	千円	随意契約
重層的支援体制構築に向けた支援事業	厚生企画課	650	千円	随意契約
保育士・保育所支援センター事業	こども家庭室	5,550	千円	随意契約
令和6年度介護サービス情報の公表制度に係る公表業務	高齢福祉課	2,746	千円	随意契約
令和6年度介護サービス情報の公表制度に係る調査業務委託	高齢福祉課	535	千円	随意契約
介護職員採用募集案内作成・配付事業	厚生企画課	1,426	千円	随意契約
中学・高校生介護人材発掘事業	厚生企画課	3,240	千円	随意契約
富山県がん総合相談支援センター事業	健康課	16,232	千円	随意契約
難病患者等ホームヘルパー養成研修事業	健康課	100	千円	随意契約
がん総合相談支援センター事業	健康課	21,387	千円	随意契約
若年性認知症相談・支援センター事業	高齢福祉課	4,152	千円	随意契約
民生委員児童委員研修	厚生企画課	1,400	千円	随意契約
児童委員・主任児童委員研修	こども家庭室	408	千円	随意契約
ホームヘルパー養成研修事業（サービス提供責任者研修事業）	高齢福祉課	550	千円	随意契約
ホームヘルパー養成研修事業（ホームヘルパー技術向上研修事業）	高齢福祉課	1,350	千円	随意契約
富山型デイサービス起業家育成講座	厚生企画課	612	千円	随意契約
富山型デイサービス職員研修	厚生企画課	408	千円	随意契約
福祉サービス第三者評価評価調査者養成研修	厚生企画課	284	千円	随意契約
介護支援専門員実務研修事業	高齢福祉課	5,500	千円	随意契約
介護支援専門員更新研修及び再研修事業	高齢福祉課	2,000	千円	随意契約
とやま介護テクノロジー普及・推進センター運営事業	高齢福祉課	44,083	千円	随意契約
ハートフル保育普及研修事業	こども家庭室	254	千円	随意契約
富山県強度行動障害支援者養成研修	障害福祉課	1,159	千円	随意契約
エイジレス社会づくり推進事業	高齢福祉課	2,000	千円	随意契約
福祉施設資金貸付事業	厚生企画課	570	千円	随意契約
富山県総合福祉会館指定管理業務	厚生企画課	93,555	千円	公募
福祉情報システム管理運営業務	厚生企画課	1,752	千円	随意契約

# 介護事業所の皆さん

## 介護助手制度を導入してみませんか？



こんな現場  
の現状あり  
ませんか？

- ・ 介護職員に業務量が集中しすぎている…
- ・ 利用者1人1人に応じた丁寧な対応ができない…
- ・ 介護職員のスキルアップの時間が取れない…

### 「介護助手」とは？

- 介護資格を持たず介護職員の周辺業務をサポートする職種です。(身体介護は不可)
- 洗濯物たたみ、シーツ交換、配膳・下膳、清掃など、幅広い業務を担当します。
- 「介護助手」という雇用形態では60歳以上が雇用しやすい傾向にあります。

### 介護助手を導入するメリット

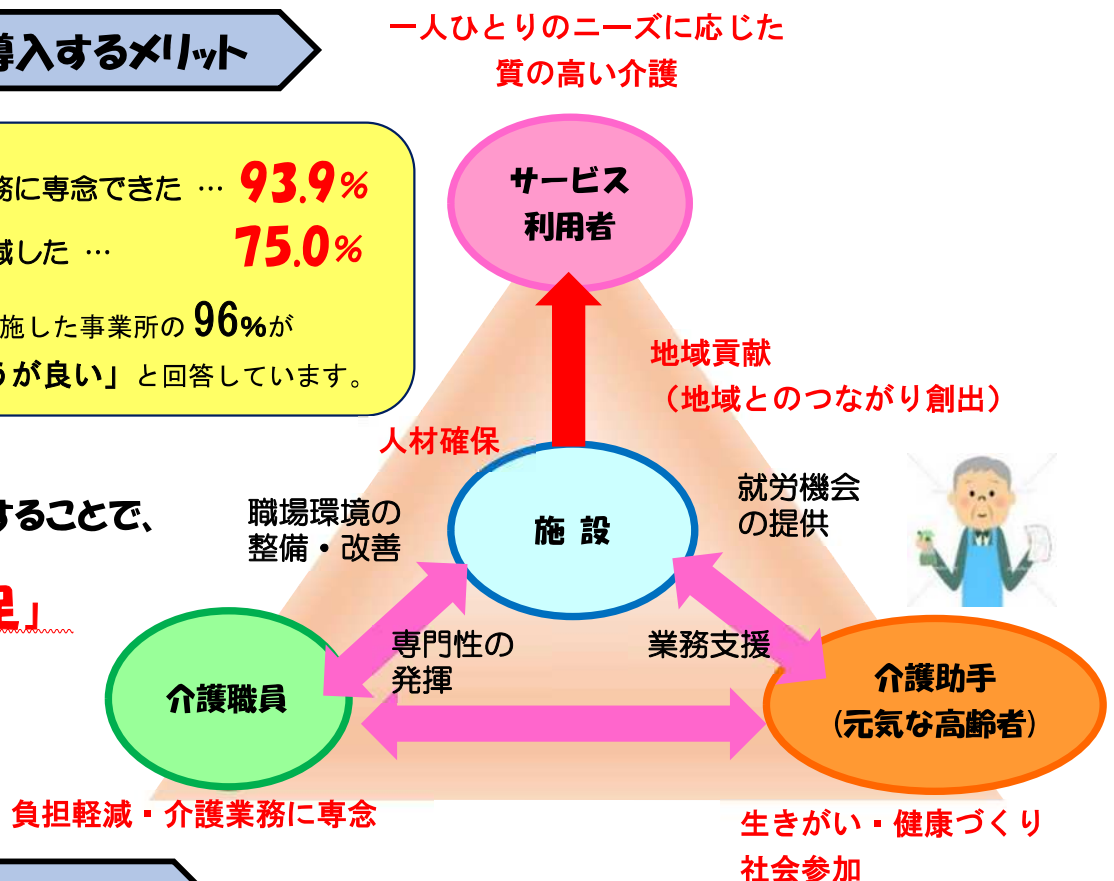
- 介護職員が専門的業務に専念できた … **93.9%**
- 介護職員の業務が軽減した … **75.0%**

令和3年度に試験的に実施した事業所の**96%**が  
「導入を継続したほうが良い」と回答しています。

介護助手を導入することで、

**「みんなの満足」**

につながります!!



### 介護助手の方のご意見



Aさん 75歳男性  
月～金まで4時間、グループホームで シーツ交換や掃除の仕事をしています 腰は曲がっているが体が続く限りは働き続けたいと思っています。



Bさん 70歳女性  
平日の週4回、特養で掃除や食事の配膳・下膳をしています。午前だけの勤務でしたが、施設には自分の希望通り6時間にしてもらいました。職員さんからは、「Bさんがいない日は大変」と言っていただきやりがいを感じています。

## 介護助手を効果的に導入するために ～事業者ができること～

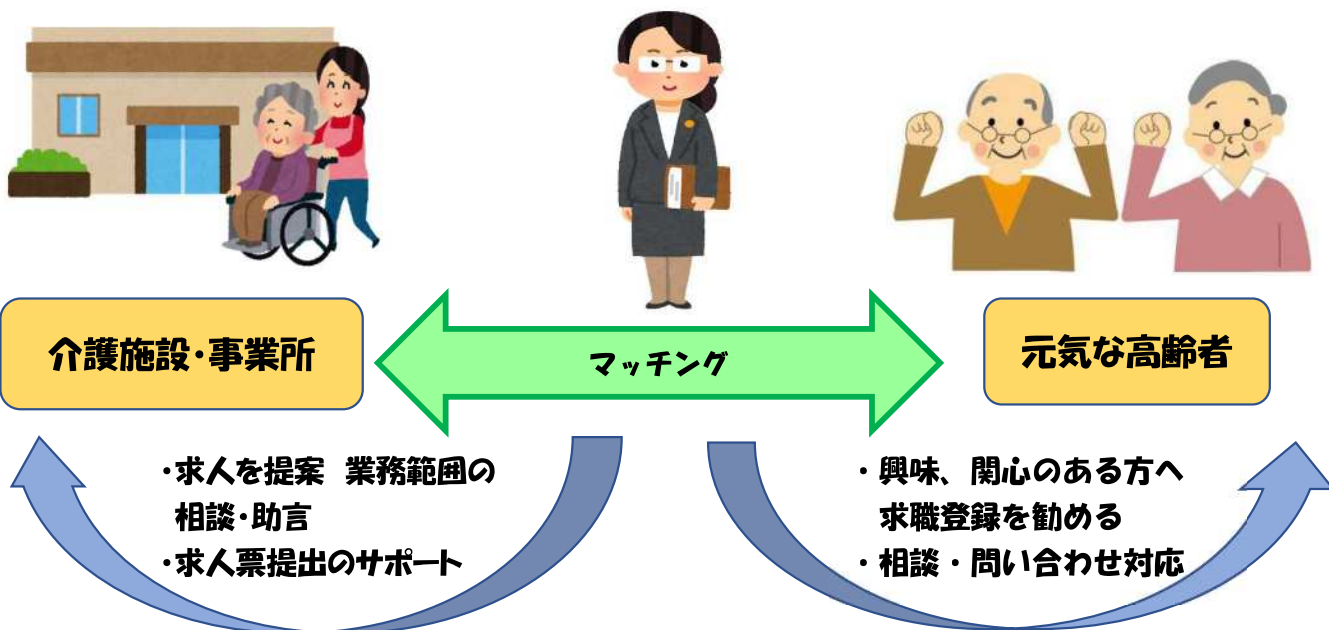
介護職員がかかわる周辺業務は62項目あり、その内、約20～25項目が介護助手でも作業でき、32%～40%ほど減らすことが可能です。（仕事量ではありません）

日頃行っている業務を「洗い出し」、「見直し」、「切り分け」てみましょう。「もっと効果的な業務の進め方」や「資格を持たない人に任せられる業務」などが見えてくるはずです。**介護職員の離職率の低下**に繋がり、働きやすい環境が整います。

### 介護助手普及推進員がお手伝いします！

#### 介護助手普及推進員の役割

- 体操教室等の元気な高齢者の集いや老人クラブの会合等を訪問し、介護助手の仕事紹介や希望者の掘り起こし、就業してくれるよう働きかけを行います。
- 介護助手の導入に関する相談、介護助手に担ってもらう業務の切り分け作業の助言、お近くの地域へのPR活動（説明会等）を事業所と一緒にを行います。



※ 求人登録を行っていただくことで、福祉人材センターから求職者への案内や介護助手募集チラシへの事業所掲載など、広く周知を行います。



■お問い合わせ先 富山県社会福祉協議会 富山県福祉人材センター  
担当：介護助手普及推進員 森崎

〒930-0094 富山市安住町5番21号（サンシップとやま2階）

TEL:076-432-6156 FAX:076-432-6532

E-mail: jinzai-center@wel.pref.toyama.jp

URL: <https://www.toyama-shakyo.or.jp/jinzai/#subtop>



元気なシニアの方、子育て中の方、介護に興味のある方  
空いている時間、ちょっとだけ手を貸してください。

# 介護助手 募集！

短時間  
勤務

資格  
不問

経験  
不問

ライフスタイルに合わせて自分らしく働いてみませんか？

## 業務内容

高齢者施設・事業所での生活サポート業務

※身体介助はありません



食事の配膳・下膳



清掃、洗濯たたみ



話し相手・見守り

身体的負担が少ないため、年齢を問わず活躍できます。

## 勤務時間

(例)1日 3時間 × 週3日等

勤務日数・時間は ご相談ください。

■お問い合わせ先 TEL:076-432-6156 FAX:076-432-6532

開所日 月曜日～金曜日 8:30～17:00

富山県社会福祉協議会 富山県福祉人材センター 担当:介護助手普及推進員 森崎  
〒930-0094 富山市安住町5番21号(サンシップとやま 2F)



## お仕事内容の一例（※施設や事業所によって業務の違いはあります。）

分類	主な業務内容
コミュニケーション関係	話し相手、見守り、レクリエーションの手伝い等
食事関係	調理補助、見守り、配膳・下膳、配茶、食器洗いなど
入浴関係	ドライヤーかけ、衣類準備、浴室清掃、物品補充など
清掃関係	ベットメイキング、シーツ交換、机上・床・トイレ清掃、手すり消毒など
送迎（事業所によって身体介助あり）	利用者の送迎（運転）車の乗降介助、車椅子介助、洗車等 ※事業所によって年齢制限あり、運転免許必須
洗濯関係	洗濯、洗濯物たたみ、洗濯物の返却・片付けなど



介護保険施設や事業所などで、介護職員をサポートする仕事です。利用者を介助する「トイレ介助」や「入浴介助」といった身体介護は行わず、それ以外の周辺業務を行います。

健康維持、生きがいづくり、社会貢献ができます。何歳からでも始められ、資格や経験がなくても仕事ができます。

### 介護助手の方のご意見



Aさん75歳 男性 月～金まで4時間、グループホームでシーツ交換や掃除の仕事をしている。腰は曲がっているが体が続く限りは働き続けたいと思っています。



Bさん 70歳 女性

平日の週4回、特養で掃除や食事の配膳・下膳をしています。午前の中の勤務でしたが、施設に自分の希望を聞いてもらい、6時間にしてもらいました。職員さんからは、「Bさんがいない日は大変」と言っています。

#### ●職場の例

- ・入所施設（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設、グループホーム、小規模多機能施設、障害者支援施設等）
- ・通い施設（デイサービス等） ※時給は各施設・事業所によって違います。

※具体的な業務内容や勤務時間は面接時に施設と相談していただきます。

**まずは** お気軽にご相談ください!!

求職登録を行っていただくことで、福祉人材センターから求人事業所への案内や見学の日程調整等を行います。  
求人が出ていない事業所へも問い合わせして紹介できる場合もあります。



<https://www.fukushi-work.jp/>

# 介護助手導入の 事例集



社会福祉法人 富山県社会福祉協議会  
富山県福祉人材センター

# 目 次

- ① 株式会社コスモスの里  
グループホーム コスモスの里 中間島（富山市）  
「一人ひとりができることを活かした施設運営」…………… 3
- ② 株式会社一休庵  
小規模多機能型居宅介護事業所 ふれあいホームわごう一休庵（富山市）  
「介護助手の力も借り、地域で利用者を支える」…………… 5
- ③ 医療法人社団 桑山会  
高岡老人保健施設 長寿苑（高岡市）  
「介護職員も助手も、働きやすい職場を目指して」…………… 7
- ④ 社会福祉法人 中新川福祉会  
特別養護老人ホーム ふなはし荘（舟橋村）  
「介護職員の慌ただしさ解消で、専門業務に集中」…………… 9

## 介護助手の導入目的とメリット



「介護助手」とは、利用者の身体介護などの専門的知識や技術を必要とする直接的な介護業務は行わず、資格・経験がなくても担うことのできる補助的な業務（清掃・洗濯・配膳・シーツ交換・送迎等）を行う職員です。

介護助手の導入により介護人材の役割分担・機能分化を促し、介護職員は専門的な業務に注力することで、介護サービスの質の向上を図るとともに、業務負担軽減や効率化により労働環境が改善され、介護職員の確保・定着につながることを期待されます。

また、ライフスタイルや体力に配慮し、無理のない範囲で働くことができる柔軟な勤務形態を取り入れ、元気な高齢者や地域の多様な人材を雇用することで、地域住民の健康や生きがいがづくり、社会参加の促進にもつながり、誰もが支え手となって地域の力で介護を支える取組みと言えます。

## はじめに

生産年齢人口の急激な減少に伴い、本県では全国よりも早いペースで高齢化が進展する中、「介護人材の確保」や「シニアの生きがいづくり」等を目的として働く意欲のある高齢者をはじめとする地域の多様な人材を「介護助手」として雇用する取組みを2022年度から推進しています。

その一方で、県内の福祉施設・事業所からは、介護助手導入のメリットは感じているものの、「高齢者を雇用することに身体面での不安がある」、「業務の切り分けをどう進めて良いか分からない」、「介護助手の業務を指導する職員の確保が難しい」といった声も聞かれます。

そこで、介護助手を実際に雇用している施設・事業所における募集・採用から就労・定着までの取組状況を紹介し、介護助手を導入する際の参考としていただくための事例集を作成しました。

本事例集が介護人材の確保やサービスの質の向上につながり、地域で誰もが必要な介護を支えていくための一助となれば幸いです。





# 一人ひとりができることを活かした施設運営



## 株式会社コスモスの里 グループホーム コスモスの里 中間島（富山市）

- 利用者定員：18名
- 介護職員数：約20名
- 介護助手数：1名
- 介護助手の名称：介護助手
- 導入時期：令和5年4月

## 介護助手導入の経緯 介護以外の切り口で、元気な高齢者にアプローチ

導入の背景として、第一に「介護職員は利用者のケアに専念してほしい」という代表の思いがありました。これまでいろんな形で求人を出してきましたが、なかなか思うように応募が集まらない中で、定年退職後の仕事を探している元気な高齢者に着目。身体介助や車での送迎となると、ご自身の体調面などが心配で二の足を踏む方もいると思い、掃除や調理といった介護以外の切り口でアプローチすることにしました。

介護助手を導入するにあたって、すでに介護助手を複数名雇用している県内の施設を見学。個人差に配慮していること、写真入りの業務マニュアルを準備していることなど、大変参考になるお話を聞かせていただきました。当施設でもできそうなことは取り入れながら受入体制を整備し、福祉人材センターとハローワークに求人を掲載。現在は1名の介護助手が、早番の時間帯で働いています。

## 導入から定着まで3つのStep

### Step 1 施設見学

#### 受け入れの心得を 参考事例から学ぶ

県内の介護老人保健施設を見学に訪れ、介護助手に渡している実際の資料などを見せていただきました。言葉だけでなく写真を交えて説明している点など、学ぶことが多かったです。

### Step 2 スケジュール作成

#### 負担にならないよう あえて簡潔な内容に

1日の業務内容を示したスケジュールと、各部屋の特徴をまとめた資料を作成。細かく書きすぎると介護助手の負担になりかねないと思い、現時点ではあえて簡潔なものにしています。

### Step 3 丁寧な指導

#### 一人ひとりの能力や ペースに合わせる

もともとのスキルや覚えの早さに個人差があるという点は、代表やスタッフにも理解を求めています。その方に合わせた教え方で、自信を持って業務に取り組んでいただけるまで指導します。

## 介護助手導入の効果 多様な人が関わることで、さらに笑顔あふれる施設へ

介護助手に来ていただく前は、日々の業務に追われて利用者に向き合えていないと感じていました。今は少しずつ利用者に関わる時間が増え、専門業務に専念できるようになっています。

基本的には居室の掃除をお願いしていますが、時間が余った時は玄関や廊下の掃除なども依頼できて助かっています。

**good!**

もともと女性スタッフが多い職場でしたが、男性の介護助手が来て雰囲気が変わりました。いろんな人が関わることで、利用者も元気になっていると感じます。

人手不足の昨今では、週1～2回、1日2～3時間という働き方でも助かります。みなさんの都合をうまく組み合わせながら、笑顔あふれる施設を運営していきたいです。

## 大切にしていること



管理者 田近 亮子さん

### 顔を見て直接「ありがとう」の気持ちを伝える

感謝の気持ちを伝えることを大切にしています。とくにお部屋の掃除は孤独を感じやすいと思うので、顔を見るたびに声かけをしています。忙しい職員を見た介護助手が、「資格を取ろうか」と言ってくださったこともありました。気持ちはうれしいのですが、利用者が安心して休める部屋を提供することも大切なお仕事の一つであると説明。できないことは無理せず職員を頼っていただきながら、職員と介護助手でエプロンを変えて利用者に対してもわかりやすくしています。

また、職員が集まる行事にもお誘いし、同じ仲間として親睦を深めています。



### 介護助手として働いたきっかけ

60歳で公務員を定年退職した後も、70歳まで働いていました。その後はしばらく無職でしたが、趣味仲間の中でも働いている人は元気だと感じて、自分に合う仕事を探しました。令和5年4月から介護助手として働き始め、毎週水・木・金曜の9時から12時まで勤務しています。仕事内容は、おもに部屋の掃除。布団カバー・シーツの交換、床の掃除機・モップがけ、手すりの除菌、トイレの掃除などを行っています。



### こんなところが介護助手の魅力

仕事を辞めて緊張感のない日々を送っていましたが、今は定時の軽作業で体力を維持できています。職員の会話や動作を見聞きしていると、自分も少し若返るように感じます。また、介護にどこか暗いイメージを持っていましたが、今の職場はとても明るい雰囲気。小さな困りごとでも職員に相談しやすいです。自分自身も高齢で短時間しか働けませんが、少しは社会の役に立っていると実感できます。いただいた給金は趣味の足しにしています。

### 介護助手のみなさんの声



Yさん 70代

## 1日の仕事の流れ



シーツ交換は動画でもコツを学んだ



感染対策にも重要な手すりの除菌



ベッド下まで丁寧にモップをかける

9:00

まずは仕事内容を確認。どの部屋を掃除するか、スタッフからの申し送りで指示があります。

9:15

居室の掃除、シーツ交換を行います。お部屋によってはトイレ掃除もあります。

11:00

時間が余ったらスタッフに申告。玄関や廊下など、指定された場所を掃除します。

11:50

終わったお仕事を申し送りボードでチェック。気付いたことや意見があれば報告します。

12:00

お仕事終了！「今日も無事に仕事が終わった」という開放感があります。

# 介護助手の力も借り、地域で利用者を支える



株式会社 一休庵  
小規模多機能型居宅介護事業所  
ふれあいホームわごう一休庵（富山市）

- 利用者定員：小規模多機能29名、デイサービス20名、ショートステイ15名
- 介護職員数：53名
- 介護助手数：小規模多機能2名、デイサービス2名、ショートステイ4名
- 介護助手の名称：介護助手
- 導入時期：平成28年7月

## 介護助手導入の経緯 これからの地域福祉に欠かせない介護助手の存在

私たちは地域密着型サービスを行う施設として、地域の人は地域の人で支えたいという思いが根底にあります。そうした中で「介護助手」という言葉が出る前の開所当時から、地域の方が介護の周辺業務を担ってくださっていました。ボランティアとしての協力からスタートし、本格的に介護助手の制度を導入したのは平成28年です。今後ますます業界の人材不足が進む中において、介護助手の存在は地域福祉に欠かせないと思います。

介護助手の業務内容は、利用者の話し相手からレクリエーション補助、入浴後の整容、居室・トイレの掃除、ベッドメイキング、食事の配膳・下膳、清掃後のごみ出し、トイレへの誘導まで多岐にわたります。勤務時間・曜日やお願いしていることはその方によって異なり、本人の希望や適性をふまえた上で各部署とすり合わせ、配属先を決定しています。

## 導入から定着まで3つのStep

### Step 1 募集

地域の方を対象に  
チラシを作成・配布

ハローワークに求人を出すほか、独自の募集チラシを作成して隣接するレストランで配布しています。働いているスタッフの紹介や、電話で直接問い合わせを受けるケースもあります。

### Step 2 雇用・就労

雇用にあたって  
2つのポイントを重視

雇用にあたって大切にしているポイントは、身体が元気であることと、お年寄りと接することが好きであること。就労が決まったら、管理者からシフトや業務内容についての相談をします。

### Step 3 職員間の意識統一

介護助手の役割や  
働き方を再確認

「介護助手とは？」を意識づけするために、職員に何度か説明する機会を設けました。身体介助をしないという前提や、一人ひとりの能力に応じた業務をお願いしていることなどを伝えています。

## 介護助手導入の効果 話し相手として利用者に寄り添ってくれる

長年にわたって施設運営に協力してくださっている地域の方および介護助手は、私たちと切っても切り離せない存在です。

ミーティングの中で、職員からは「介護に専念できている」「お願いしている業務だけでなく、プラスアルファのことをしてくださる」といった声が上がっています。

**good!**

業務に追われがちな職員に代わって、利用者の話し相手をしてくださるのが助かっています。地域の方かつ利用者との年代も近いということで、地元トークに花を咲かせている様子もたびたび見受けられます。話すことが得意な方にはレクリエーションにも関わっていただくなど、一人ひとりの得意・不得意に合わせた業務をお願いしています。



## 大切にしていること



介護長 笹川 麻衣子さん

### 同じ施設の仲間として、情報共有や意見交換を行う

介護助手は一緒に働く仲間として、朝礼やミーティングにも参加していただきます。利用者の体調などを情報共有し、何かあった時にみんなで対応できるようにするためです。また、職員の考えを聞いていただき、介護助手の立場から意見をもらうこともあります。普段の会話の中で出てくる、大きな問題になる前の“つぶやき”も、その場で対応・解決することを心がけています。

朝や夕方の忙しい時間帯に出勤してくださる介護助手の力は大きいです。これからもみんなで力を合わせて、利用者に寄り添った施設をつくっていきたいです。



### 介護助手として働いたきっかけ

数年前まで、家で主人と母の介護をしていました。この施設は家から近く、母も宿泊利用させてもらったことがあったので、以前からよく知っていました。

ある日、施設が運営する隣のレストランへ食事をしに来た際に、ショートステイで介護助手を募集していると紹介されました。そろそろ自分の時間をつくろうと思っていたタイミングと重なり、働き始めて6年目になります。



### こんなところが介護助手の魅力

いつも利用者のみなさんから元気をもらおうと同時に、規則正しい生活で、きちんと食事を摂ることが健康につながると実感しています。私自身も高齢で利用者と年齢が近いので、いずれ行く道を見せていただいている気がします。もともと保育士の仕事をしていたので、同じ人を相手にする仕事として通ずる部分があり、働くのが楽しいです。勤務時間内に次々とやるがありますが、その方が私には合っていると思います。

### 介護助手のみなさんの声



Kさん 70代

## 1日の仕事の流れ



ピッチャーから利用者に配るお茶を注ぐ



ベッドメイキングしてくつろげる部屋を用意



きれいな施設で気持ちよく働けている

7:00

夜勤のスタッフと朝食の準備。ご飯や味噌汁をよそったり、その都度お手伝いします。

8:30

各部屋を掃除。コロナ禍はとくにテーブルやドアノブ、手すりの消毒を徹底。

9:30

お風呂からあがった利用者の髪をドライヤーで丁寧に乾かし、整えてあげます。

10:00

利用者の希望に合わせて飲み物を配ります。合間にはレクリエーションも提供。

11:00

勤務終了。1日おきの出勤なので、次の日はゆっくりと身体を休めることができます。

# 介護職員も助手も、働きやすい職場を目指して



## 医療法人社団 桑山会 高岡老人保健施設 長寿苑（高岡市）

- 利用者定員：入所100名、通所35名、デイサービス12名
- 介護職員数：40名
- 介護助手数：3名
- 介護助手の名称：介護助手
- 導入時期：令和5年6月

## 介護助手導入の経緯 職員の負担を軽減し、長く働き続けられる職場へ

当施設では幅広い世代の介護職員が活躍しています。長年勤めている職員が多い一方で、ここ一年ほどの間に数名の退職が続き、日々の業務に余裕がなくなってきたと感じていました。職員の業務負担を減らせたらと考えていたタイミングで、福祉人材センターから介護助手を紹介され、導入に至りました。

介護助手という制度を知るまでは、直接的な介護以外の業務内容で求人を出すという発想がありませんでした。しかし、介護の専門職を目指す人自体が少ない中で、これまでのように有資格者の求人だけを出していてもなかなか人は集まりません。今後深刻化する業界全体の人手不足も見越して、私たちも頭を切り替える必要があると思いました。また、業務の切り分けを行ったことで、資格を持つ職員がやるべきことも明確になりました。新人職員の「何をしたらいいかわからない」という状況の解消にもつながることを期待しています。

## 導入から定着まで3つのStep

### Step 1 業務の切り出し

#### 現場が主導となり 介護助手の業務を精査

日頃から業務改善を検討しているチームリーダーと主任が中心となり、まずは「自分たちが困っていることは何か？」を洗い出し。そこから介護助手が担える業務をピックアップしました。

### Step 2 マニュアル作成

#### 曜日ごとの業務内容を わかりやすく指示

曜日によって業務内容が部分的に異なるため、週間スケジュールと、1日の流れに沿った業務マニュアルをそれぞれ用意。業務内容は適宜見直しを行い、その都度改訂版を作成しています。

### Step 3 条件のすり合わせ

#### 本人の希望に合わせた 柔軟な働き方を実現

介護助手・職員問わず、できる限り家庭の事情に合わせた働き方ができるよう調整しています。介護助手は9時～16時の実質6時間勤務を基本に、曜日や時間の希望をお聞きしています。

## 介護助手導入の効果 期待以上の仕事ぶりで、なくてはならない存在に

直接的な介護以外の業務を介護助手に担っていただくことで、職員の負担が軽減されただけでなく、これまで以上に利用者と密に関われるようになりました。

また、あまり手が回っていなかったベッド周りの清掃なども週単位で実施することで、利用者が快適に過ごせる環境を保つことができています。

**good!**

介護助手が期待以上の仕事をしてくれることに驚いています。例えば、利用者によってお茶につける“とろみ”の有無が異なるのですが、正しく配茶できるようにと、介護助手が率先して座席表を作成してくれました。また、同じフロアに配置されている介護助手同士が分担・協力して動いてくれており、現場からも「助かる」という声があがっています。

## 大切にしていること



事務長 吉川 洋子さん

### 定着のために業務の見直しや声かけを実施

介護助手にできるだけ長く勤めていただけるよう、業務内容の見直しや声かけを積極的に行っています。当初のスケジュール通りに業務をしていただくと、一息つける時間がほぼありませんでした。そこで、事務員の目線から「立ちっぱなしはつらいのでは？」とチームリーダーにアドバイス。座ってできる仕事として、ガーゼたたみを組み込んでもらいました。

介護助手の業務に慣れてくると、直接介助ができないことをもどかしく感じる方もいると思います。本人の意向に応じてではありますが、介護の資格取得を目指す方がいたら私たちもうれしいです。



### 介護助手として働いたきっかけ

失業中に、ハローワークが開催するシニア向けの就職支援セミナーに参加しました。60歳以上の求人は介護・掃除・調理の3つが多いと聞き、自分は介護を目指してみようと思いました。当時「介護助手」の求人は出ていなかったのですが、富山県福祉人材センターの担当者に連絡したところ、すぐに近場の施設を紹介していただけました。就業にあたって土日休みなどの希望も考慮していただけたのがありがたかったです。



### こんなところが介護助手の魅力

資格がなくても介護の職場で働けることが何よりの魅力だと思います。私も介護の経験は一切ありませんでしたが、チームリーダーをはじめとする職員のみなさんや、介護助手の仲間と協力しながら働いています。まだ入って間もないので目の前のことで精いっぱいですが、要領をつかめればテキパキとこなせる業務内容だと思います。利用者の顔と名前を覚えるために、これからはもっとコミュニケーションをとっていきたいです。

### 介護助手のみなさんの声



Uさん 60代

## 1日の仕事の流れ



専用の赤いカートに必要物品が揃う



ベッド周りの清掃も丁寧に実施



利用者とのコミュニケーションを図る

9:00

全体朝礼後、ポットを洗い、おしぼりを準備します。一般浴で使用するタオル類も用意。

9:45

月・火・木曜は居室を整理。棚拭き、整理整頓、タオルの交換などを行います。

11:40

1時間の休憩。お昼ご飯を食べて、午後の仕事に備えてゆっくりと身体を休めます。

12:40

月・木曜は一般浴の日。浴室にカートとクリーニング入れを持っていきます。

13:50

ドライヤーで利用者の髪を乾かします。時間に余裕があるときは物品補充なども行います。



# 介護職員の慌ただしさを解消で、専門業務に集中



社会福祉法人 中新川福祉会  
特別養護老人ホーム ふなはし荘（舟橋村）

- 利用者定員：80名
- 介護職員数：82名
- 介護助手数：1名
- 介護助手の名称：介護助手
- 導入時期：令和5年6月

## 介護助手導入の経緯 信頼できる機関からの紹介で、元気な高齢者を採用

介護助手を採用したきっかけは、福祉人材センターからの紹介です。介護職のなり手が少なく、業界全体の人手不足が叫ばれる中で、資格がなくてもできる周辺業務を担っていただければ、ぜひ当施設で活躍していただきたいと思い導入を決めました。以前は地元ボランティアの方にシーツ交換をお願いできていましたが、メンバーの高齢化やコロナ禍で途絶えてしまい、職員の業務負担が増えていたことも背景の一つです。

県内外の人材紹介会社から介護助手を紹介されることもあります。実際に求職者と会って話をされている福祉人材センターやハローワークからの紹介は安心でき、定着への期待感もあります。現在は1名の介護助手が週6回働いており、環境整備、洗濯物たたみ、シーツ交換などをお願いしています。

## 導入から定着まで3つのStep

### Step 1 業務の切り出し

職員の意見を聞き  
業務を集めた

介護助手を導入するにあたって、資格や専門知識がなくてもできる業務を見つけることから始めました。職員が手を借りたい部分はどこかをヒアリングし、業務を集めていきました。

### Step 2 物品の準備

仕事を進めやすいよう  
準備から工夫

環境整備に必要な用具を揃え、すぐに業務に取りかかれるようにしました。また、洗濯物をたたんで部屋に持っていく際にわかりやすくなればと思い、利用者の名札も用意しました。

### Step 3 指導

業務に慣れるまで  
職員がついて教える

初めのうちは職員が横について業務を教え、介護助手が慣れてきたことを確認してからお任せするようにしています。シーツ交換は少しコツがいりますが、それ以外の難易度は高くない印象です。

## 介護助手導入の効果 専門業務に集中できる時間が増え、慌ただしさも解消

フロア単位で職員が担っていた居室やベットの準備も介護助手が行うことで慌ただしさも解消され、各フロア毎の職員が専門業務に集中できています。利用者に向き合える時間が増え、ケアの質の向上に繋がっています。

慣れていただくまでは指導に時間を割く必要がありますが、その時期さえ乗り越えれば、本当に楽になると実感しています。

**good!**

家事経験を活かした裁縫などお願いできてありがたいです。時間が余った時には、やぶれた服の補修やボタンつけなどをしていただいています。

以前働いていた介護助手には、食事の配膳や介助も手伝ってもらっていましたが、今後も本人のスキルや意向に応じた業務をお任せしていきたいです。

## 大切にしていること



事業長 岩田 教子さん

### わかりやすく伝える配慮や寄り添う姿勢が必要

介護助手は高齢の方が多く、本人が心身の負担に感じない業務をお任せすることを心がけています。同時に、わかりやすく伝えるような配慮や、何度でも根気強く教える姿勢も必要だと感じています。

介護助手の求人は、午後の時間帯を基本としつつ、曜日・時間ともに応相談で出しています。今は日によって違うフロアの仕事をお願いしていますが、これからは曜日や時間である程度内容を固定し、わかりやすくするためのマニュアルやスケジュールの作成も検討していきたいです。



### 介護助手として働いたきっかけ

まだまだ元気なので身体を動かす仕事をしたいと思っていたところ、ショッピングセンターで介護助手募集のチラシを目にしました。介護の仕事はしたことがなく、私に務まるのか不安に思いましたが、福祉人材センターの担当者に「最初は大変かもしれないけど慣れたら大丈夫」と後押しされ、介護助手として働くことを決めました。舟橋村は昔から馴染みのある地域だったこともあり、富山市内から15分ほどかけて通っています。



### こんなところが介護助手の魅力

月～土曜の週6回働いていますが、毎日ここに来るのを楽しみにしています。家でじっとテレビを見ているよりも、身体を動かしたり、誰かと話したりする方が私にとっては楽に感じます。洗濯物たたみや裁縫は、家でやっていることと変わらないので何の苦もありません。シーツ交換は未経験でしたが、数をこなすうちに要領良くできるようになりました。職員のみなさんも親切で、わからないことがあれば何でも教えてくれます。

### 介護助手のみなさんの声



Sさん 80代

## 1日の仕事の流れ



ひと部屋ずつ清潔なシーツに交換



洗濯物をたたむスピードはさすが！



時間があれば手すりの拭き上げも行う

13:30

昼過ぎに出勤。職員に「何をしたらいいですか？」と聞き、仕事内容を確認します。

13:45

職員に指示されたフロアへ移動。この日は利用者20～30人分の洗濯物をたたみます。

14:45

洗濯物を各部屋に持っていきます。数が多いので、あっという間に時間が経ちます。

15:15

時間が余った場合は、手すりを消毒して拭き上げたり、破れた服を縫ったりします。

15:30

仕事が終わったら、職員に挨拶して帰宅。身体を動かすのは気持ちよくなります。

## 介護助手導入のための参考資料、ホームページ

### ◆ 介護助手導入の手引き (PDF)

介護助手の受入準備から業務の切り出し、募集、採用、定着までの手順を取りまとめてあります。



### ◆ 介護助手導入様式集 (Word、Excel)

介護業務の切り出し例、介護助手業務のチェックシート、1日の業務表、募集チラシ、作業手順書など、介護助手の導入にご活用いただける各種様式。



### ◆ 富山県福祉人材センター (介護助手募集ページへのリンク)



### ◆ 求人情報サイト「福祉のお仕事」

介護助手や介護職員の募集、その他働く人を探したい事業所の方はこちらをご利用ください。



### 福祉のお仕事・求人募集に関するご相談はこちらまで

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会  
富山県福祉人材センター

〒930-0094 富山市安住町5番21号  
TEL: 076-432-6156 FAX: 076-432-6532  
E-mail: jinzai-center@wel.pref.toyama.jp